

パブリックコメントの実施について

- 1 実施目的
板橋区立中央図書館基本構想（中間のまとめ）に関する意見の募集
- 2 意見募集期間
平成 28 年 2 月 3 日(水)から 2 月 26 日(金)(24 日間)
- 3 板橋区立中央図書館基本構想（中間のまとめ）の公表方法
①広報いたばし（平成 28 年 2 月 13 日号掲載）
②区ホームページ(平成 28 年 2 月 3 日公開)
③区内図書館・区政資料室閲覧（平成 28 年 2 月 3 日閲覧開始）
- 4 意見の提出方法
直接・郵送・FAX・電子メール・区ホームページ
- 5 提出人数と意見数
61 名・26 項目・延べ 115 件
- 6 意見の概要と区の方考え方

	意見（要約）	区の方考え方
1	「板橋区立中央図書館基本構想中間のまとめ」にある基本理念が実現すれば上板橋地域が板橋区の文化の中心になって発展していきそうです。移転先の平和公園に隣接する教育科学館との連携も考えてほしい。また、重点テーマにおいて、具体的な施策がみえないので、今後の検討の中で、板橋区独自施策を盛り込んでほしいと思います。この検討の過程において、利用者の要望をどのように取り込んでいくのかも示してほしい。	新たな中央図書館は、区の魅力を高め、文化・情報発信の拠点として地域の活性化を促進する施設をめざしています。 今後、区民懇談会（仮称）や区民説明会（意見交換会）を継続して実施することで、幅広く区民の皆様のご意見を聴取する機会を設け、近隣の教育科学館や公園の諸活動と連携し、板橋区の特色をいかした新たな事業を具体的に検討していきます。
2	中央図書館については、施設・整備のハード面だけでなく、今あるサービス面の充実が重要だと思う。	中央図書館基本構想では、現状の課題として、ハード面だけではなく、サービス面における課題も検討し、「生涯を通じこころの豊かさを支える図書館」など5つの重点テーマを定めました。今後、地域図書館と連携しながら、重点テーマに基づいた図書館づくりに取り組みます。

	意見（要約）	区の考え方
3	<p>図書館の本質は、図書資料の利用にあるので、多様な要望に対応する蔵書数の確保は重要だと思う。また、図書の調べ方がわからない人へのサービス（レファレンス）の情報提供も充実させてほしい。そして新たな建物は、ユニバーサルデザインとともに、蔵書資料の長期保存にも優れたものにしてほしい。</p>	<p>中央図書館基本構想の重点テーマでも、豊富な蔵書構成を図ることとしています。また、課題解決型図書館として、レファレンス技能の向上や、情報検索のため ICT 化を導入することを検討いたします。この重点テーマに基づいて、利用者の皆様の期待に応えていきたいと考えています。</p> <p>また、新たな中央図書館をユニバーサルデザインに配慮した建物を計画します。</p>
4	<p>公共施設を利用する世代層バランスを考えれば、公共の図書館がファミリー層や青少年層に果たす役割はとても大きいと思う。この層が求めるニーズを充実させていくことが必要だ。特に、教育分野における学力向上を推進するため、学習室の機能の規模面積を拡充することが望ましい。</p>	<p>新たな中央図書館では、「子育て世帯」「青少年層」向けの提供サービスとして学習室の整備や青少年向け資料を充実していきます。また、教育分野においては、図書館の重点テーマに「学校・家庭と連携する図書館」を掲げ、子ども向けの資料・サービスを拡充し、読書活動を支援するとともに、読書感想文コンクール、図書館を使った調べる学習コンクールなど学校連携事業を通じ子どもたちの読書活動の支援を行うなど、読書環境を整備し子どもたちの読書活動を推進していきます。</p>
5	<p>蔵書数の将来的な拡張性に余裕をもっていたほうが良いと思う。</p>	<p>新たな中央図書館では、将来的な蔵書の収蔵量増加にも備えたスペースを確保してまいります。</p>
6	<p>新しい中央図書館では、閲覧席数の増加や学習室の確保を希望します。また駐輪スペースの立体化、清潔なトイレ、太陽光パネルの設置、人感センサーの導入などを考えてほしい。</p>	<p>中央図書館基本構想で示した施設整備計画をもとに今後、新たな中央図書館の諸機能等を基本計画で策定していく予定です。基本計画において、新たな中央図書館のフロアごとのエリア（児童室・学習室等）配置やスペース、導入する諸機能を様々なご要望に配慮しながら、具体的に検討していく予定です。</p>
7	<p>新たな中央図書館では、パソコンを使える席を増加してほしい。自転車・バイクの駐輪場を整備してほしい。</p>	<p>図書館利用者の方からの様々な要望を受け、中央図書館基本構想では、パソコンを利用できる学習室や、駐輪場の整備を行うことを掲げています。皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、今後、基本計画において、各エリアの具体的な検討を進めていく予定です。</p>
8	<p>建設に始まり、活用、維持、修理から最終的に壊すまでの 50 年間で全体としてみたときに、投入されるエネルギーや資源が全体として節約できる図書館を建築してほしい。</p>	<p>今後の基本計画・設計を検討する際に、建築物として長く使用に耐えるもの、維持費も含めた全体の運営経費ができるだけ効率的となることを考慮してまいります。</p>

	意見（要約）	区の考え方
9	カフェは最近、図書館や書店に併設されることもあるようですが、個人的には反対です。カフェを施設内に含むのであれば、図書館部分をゲートで区切り、その外にカフェを併設する方法が考えられる。	基本構想では「いたばしラウンジ」というエリアに喫茶をしながら読書が楽しめる空間を設置する提案をしています。今後、本の汚損や紛失への対策等を検討してまいりますので、ご提案の内容も参考とさせていただきます。
10	板橋区の予算で建てるのであれば、利害関係者は板橋区民全体である。区内全域で実施したアンケートでは総和として賛成が多い。平和公園への移転・改築には近隣住民だけの意見だけではなく、区全体にとって有益であることを示してほしい。	中央図書館の建て替えについて「中央図書館基本構想（中間のまとめ）」では、基本理念を「未来をはぐみ、こころの豊かさと新しい価値を創造し、“緑と文化”を象徴する図書館」としています。この中央図書館の整備が板橋区全体にとって有益であることを広く区民に周知していきたいと考えています。
11	参考資料の「地域分類2」の回答数が少ないので調査の信頼性が疑問だ。	「地域分類2」の回答数については、板橋区の人口構成比とほぼ同じ構成比になっています。Web調査が971件、図書館利用者調査が354件、合計1,325件の回答があり、一定の信頼性は確保できていると考えています。
12	「中央図書館基本構想中間のまとめ」からは、移転先の候補地をどの程度検討したのか経過がわからなかった。（同様意見11件）	中央図書館の改築場所については、平成26年度に「今後の中央図書館の施設等検討会」において、中央図書館の施設規模を検証し、改築場所の検討を行いました。これまで検討した移転候補地について、中央図書館基本構想最終報告の参考資料として、改めてお示しします。
13	平和公園に移転せずに、現在地で魅力的な図書館を建築できるよう、法律改正等を視野に入れて検討してほしい。現在地に規模の小さい地域図書館を建築することはできないのか。（同様意見21件）	現在地での建て替えができないか検討いたしましたが、建築基準法等の規制により、現在の約1/2の1,400㎡程度の床面積しか確保できず、中央図書館の機能と規模を維持できる施設の建設はできないことが明らかになりました。そこで、現在地に近い場所へ移転して改築することを検討し、平和公園を移転候補地として選定しました。
14	現在の図書館が、耐震診断調査Is値（耐震指標）0.66で躯体事態に問題がないのに、新築する必要があるのか疑問である。現在の図書館をリフォームすることを検討してほしい。	現中央図書館は、設備の老朽化が進んでいるので、設備の更新・躯体の補強等のリフォームや、大規模改修したとしても、建物の耐用年数を延長することはむずかしいと判断しています。また、リフォーム工事ではエレベーターの設置、情報化への対応、いたばしボローニャ絵本館の併設等の新たな機能を盛り込むことはできないと考えています。

	意見（要約）	区の考え方
15	利用不便地域への対策として、返却ポストを前野小学校周辺施設等に新しく設置してほしい。	図書館から離れている地域に対して、現在、返却ポスト設置や地域図書館の出張事業等で対応しております。前野小学校は現在の中央図書館からは約1km圏内ですが、中央図書館の移転に伴い返却ポストの設置で対応することが適切か検討する予定です。
16	平和公園は、朝のラジオ体操・保育園児の散歩・遊び場・高齢者のゲートボール場などの親しまれたコミュニティの場であり、さらに、季節の大きな行事・催しがあります。公園行事等に影響がでるので、図書館を移転しないでほしい。 (同様意見 21 件)	中央図書館基本構想中間のまとめの重点テーマに「地域のコミュニティ形成を支援する図書館」を掲げています。図書館利用者も公園利用者も共に利用できる空間を提供します。また、新たな中央図書館では、様々な世代の方々が情報交換や交流をしたりするスペースを設け、地域のコミュニティ形成を支援していくような事業に取り組んでいきます。 今後、公園利用状況調査を実施した上で、図書館建物が公園内の様々な活動に及ぼす影響を最小限にするよう基本計画を策定していく予定です。
17	平和公園に中央図書館が建築されると、図書館利用者の騒音対策として、公園イベント主催者に音の規制等でイベントや行事に対する支障が生じると思う。	新たな中央図書館は遮音性に優れた建物にすることで、図書館利用者が心地よく読書できる環境を整備する予定です。従って、現在の平和公園のイベント・行事等を継続できるよう、考慮いたします。なお、新しい中央図書館では、区民が集う場の確保や、公園と連携した事業に取り組んでいきます。
18	図書館の改築は賛成ですが、平和公園に移転することは反対です。平和公園は憩いの場であり貴重な空間です。公園の樹木を伐採すると公園内の四季折々の風景・池の鴨・木々の昆虫などの景観をみることができなくなりそうに思う。(同様意見 20 件)	中央図書館基本構想の重点テーマに掲げた「板橋の魅力“緑と文化”を象徴する図書館」であり、水や緑などの自然と調和した読書環境を目指していきます。なお、平和公園の四季折々の景観・環境を損なうことのないよう、新たな樹木等の配置変更を含めた全体計画により、公園と一体となった環境整備（空間づくり）を検討していく予定です。
19	平和公園に、図書館のような大きな施設ができると、災害時の避難場所にも影響が出る。 (同様意見 12 件)	新たな中央図書館の建築面積は、平和公園の面積の10%以内と考えています。平和公園の避難場所としてのスペースを確保できるように基本計画のなかで、新たな中央図書館の配置場所等を考えていきます。新たな中央図書館は、耐震性に優れた建物とし、災害用倉庫やWi-Fi機能を備えるとともに、防災・まちづくりワークショップの開催で、周辺地域にお住まいの方に対する防災活動を支援していきます。
20	中央図書館を平和公園に移転すると、工事期間内、平和公園が利用できなくなる。	工期中の影響をできるだけ少なくするよう、基本計画を検討する際に平和公園における新たな中央図書館の配置場所等を、公園利用状況を考慮しながら考えていきます。

	意見（要約）	区の考え方
21	中央図書館が移転すると、周辺商店街が活性化するという噂を聞いたが、図書館利用者の行動線から考えられないと思う。	中央図書館基本構想では、新たな中央図書館では「地域のコミュニティ形成を支援する図書館」を重点テーマにして、区民が集い、情報交換を行う場をめざします。また、重点テーマには、板橋の魅力“緑と文化”を象徴する図書館と定め、公園の諸活動や周辺の教育科学館などと連携し、新たな事業展開を行う予定です。周辺商店街の活性化にもつながるような、区内外から多くの方が来館していただける施設を目指します。
22	平和公園の土地の一部は区が国から無償貸与されているので、図書館を平和公園に移転するには財務省の許可が必要ではないか。	国から無償貸与を受けている国有地の部分に仮に図書館を建設することになった場合には、財務省へ公園の利用計画変更の申請を行います。財務省からは図書館は公園敷地として建てられることになっているため、図書館建設を理由なく反対することはできないが、区の計画が頓挫することのないよう、地元住民に十分説明のうえ手続きを進めるようにと聞いています。
23	東京オリンピックにむけて建設費高騰が予想され、財政負担が大きいため中央図書館の移転改築計画は凍結すべきである。	現状の中央図書館はユニバーサルデザインとして未整備であり、施設・設備の老朽化が進んでいることから、早急な改築が必要と考えています。今後、財政状況を考慮しながら関係部署と十分協議して、建設について具体的に検討していく予定です。
24	中央図書館基本構想に、区民説明会の意見が反映されているのか疑問である。 (同様意見 2 件)	中央図書館の移転・改築については、区民説明会をはじめ、中央図書館に寄せられた様々なご意見ご要望を、中央図書館基本構想検討会・区民懇談会に報告させていただきました。区民説明会でのご意見を参考に検討した結果として中央図書館基本構想「中間のまとめ」を公表しています。
25	中央図書館基本構想検討会等の運営内容が開かれていない。区民に開かれたものにしてほしい。	中央図書館基本構想検討会の内容は、区民説明会において、検討内容を、適宜、説明しています。また、中央図書館区民懇談会は、傍聴者を公募しております。今後、新たな中央図書館の移転・改築計画に関する検討も、開かれたものになるよういたします。
26	平和公園の移転について、周辺の方に十分な周知をしてほしい。 (同様意見 2 件)	中央図書館の移転・改築の区民説明会は、平成 27 年 6 月から平成 28 年 3 月まで計 7 回実施しました。広報いたばし、区 HP、図書館 HP や Facebook、周辺町会の掲示板ポスター・町会回覧版チラシを活用し、今後もさらに周知徹底してまいります。